

災害の想定がその後の地域経済に与える影響

概要

近年、ハザードマップなどのように、災害を想定し防災に役立てる動きが各国で活発化している。災害リスクによる経済的影響に関する分析が行われている一方で、災害の想定が災害の経済的影響に与える効果についてはほとんど議論されていない。本研究では、東日本大震災を対象としてこうした想定の有無が災害後の地域の経済に与える影響を分析する。その結果、想定がされていた地域ではされていなかった地域に比べて短期的に経済成長が促進されることが分かった。この傾向は、災害の規模が小さい地域において特に顕著であった。また長期的な人口変動においても、災害前の人口成長率が低い地域では災害が想定されていない場合に負の効果があることが示された。本研究の結果は、災害の経済的影響を想定の有無で切り分けた結果を示すとともに、近年の災害想定の経済的な政策効果を検証することに寄与する。